

広島ゆたか

広報

第159号

令和2年12月

編集発行
JA広島ゆたか総務部

10月末実績

期首組合員数	5,014人
出資金額	5億4337万円
貯金残高	280億4473万円
貸付金	5億4755万円
供給高	5億9978万円

いつも当JAのご利用有難うございます。今後も役職員一同、誠心・誠意にいたしますので、今後ご利用のほどよろしくお願い致します。



「高収益作物次期作支援交付金事業」の見直しについて

農林水産省より、令和2年10月12日(月)付けで「高収益作物次期作支援交付金事業」の運用見直しが通達され、農林水産省中四国農政局による運用見直しに係る「説明会」が11月5日(木)～12日(木)に開催されました。当初、令和2年4月30日(木)の農林水産省からの「高収益作物次期作支援交付金実施要領」の内容に基づき、7月には「地区別説明会」を開催し、該当する皆様への申請手続きの代行等、事業実施に向けて取り組んでいる中での運用見直しとなりました。

当組合としても、運用見直しは納得しかねる旨を、中四国農政協及び広島県に対しても意見してきましたが、国の方針変更は難しい状況となっています。11月17日(火)より、再申請のための書類作成等について、地区別に広島県及び市町と協力し窓口対応を行っています。

なお、先日の中四国農政局からの説明にありました「高収益作物次期作支援交付金運用見直しに伴う追加措置」については、農林水産省及び広島県より通知があり次第、当JAからも対象者の皆様へお知らせします。

「選別講習会」の開催について

令和2年10月22日(木)より各地区において、出荷者に対し早生みかん和レモンについての「選別講習会」を開催しました。出荷に際しての注意点や柑橘の管理方法について、詳細に担当者より説明がありました。参加された出荷者の皆様は熱心に受講されました。



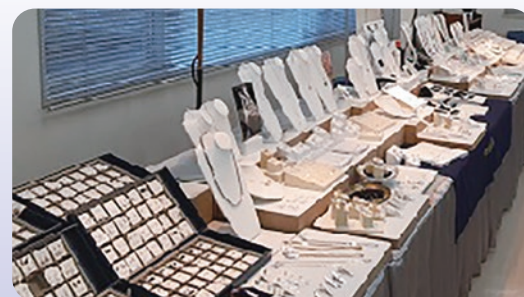
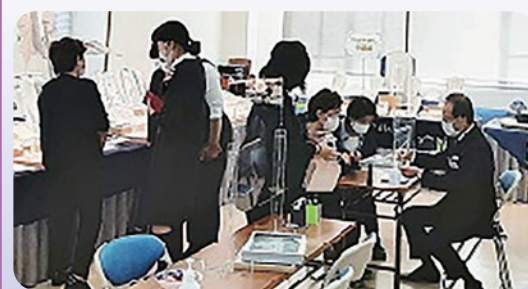
「石積みかん」出荷開始！！

JA広島ゆたかの高級ブランドである「石積みかん」の出荷が令和2年11月13日(金)から始まりました。年内までの出荷で出荷量26トン計画しています。今年は糖度も高く、品質も上々の仕上がりで、「大長みかん」の牽引役としての市場評価も高く、贈答品としての需要が多くなっています。



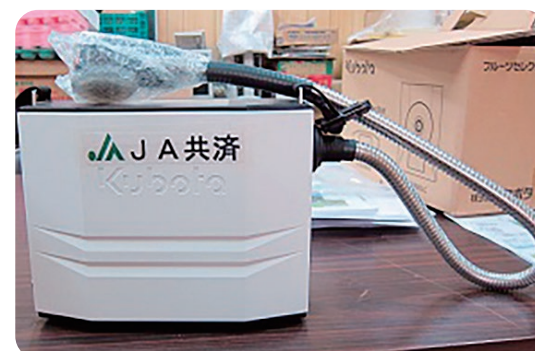
「ジュエリー展」の開催について

令和2年10月23日(金)～24日(土)に下島地区、11月6日(金)～7日(土)に上島地区において、毎年恒例の「ジュエリー展」を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で、例年より遅くなりましたが、十分な感染対策をした上で開催しました。来場者の方には不便をお掛けしましたが、多くの方々に賑いました。



JA共済「地域・農業活性化取組支援活動」について

組合員の豊かな生活づくり、安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献するため、JA共済連は地域貢献活動に対し助成を行い、JAと組合員との繋がりを強化することを目的とした取組支援活動を実施しています。その一環として令和2年11月5日(木)大崎上島柑橘施設部会には「非破壊糖度酸度計」が寄贈されました。また同日、大崎上島町沖浦木越地域において、地元集会所で開かれる「百歳体操」等の地域活動の支援として、「映像システム」が寄贈されました。



主な行事報告

10月29日 第7回 監事会
10月29日 第7回 理事会
《協議事項》

第1号議案：マネロン・テロ資金供与防止のため「JA広島ゆたかリスク評価書」の見直しについて

第2号議案：金融事業における、金利の設定ならびに手数料の一部見直しについて

《報告事項》

1. レモンの大苗について
2. 前渡金について
3. 販売状況について
4. 内部監査結果について
5. 苦情処理及び事務リスクの報告について
6. 共済コンプライアンス点検について
7. (旧) 御手洗事務所について